

研究者等リスト(外部機関用)
(☐新規 ☐変更)獨協医科大学日光医療センター
生命倫理委員会 委員長 殿

(研究責任者)

研究機関名

所属・職名

氏名

下記の研究において、下に示す者を研究者等として申請いたします。

研究課題名	
-------	--

研究責任者の氏名・所属・職名等			
氏 名	所属・職名	利益相反状況の確認 ^{*1}	教育訓練の有無 ^{*2・3}
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
研究分担者の氏名・所属・職名等			
氏 名	所属・職名	利益相反状況の確認	教育訓練の有無
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み
		☐ 確認済み	☐ 教育(受講)済み

特記事項 ^{*4}	
--------------------	--

^{*1}:利益相反状況の確認は、所属機関の利益相反管理の方針に従うこと。なお、所属機関において倫理審査委員会審査後に利益相反の確認を行う場合は、その旨を特記事項に記載すること。(当該利益相反確認において研究計画書及び説明文書等への利益相反状況の記載が必要とされた場合は、別途変更手続きを行う必要がある。)

獨協医科大学日光医療センター【一括審査・外部機関用_様式4】(2023 作成 Ver1.0)

*2:教育・研修の形態としては、各々の研究機関内で開催される研修会や、他の機関(学会等を含む。)で開催される研修会の受講、e-learning(例:ICR-Web、臨床試験のためのe-Training center、eAPRIN)などが考えられる。なお、教育・研修の内容は、受講者全てに画一的なものとする必要はなく、その業務内容に応じた適切なものとするのが望ましいため、適当かどうかも含めて研究責任者が判断する。

*3:少なくとも年に1回程度は教育・研修を受けていくことが望ましい(「生命・医学系指針 第4の2 ガイダンス」参照)

*4:申請にあたり、特記事項があれば記載する。特記事項の例として、利益相反確認が審査後であるなどが考えられる
注)利益相反に関する書類、教育記録は保管し、倫理審査委員会が必要とした場合は提出する。